

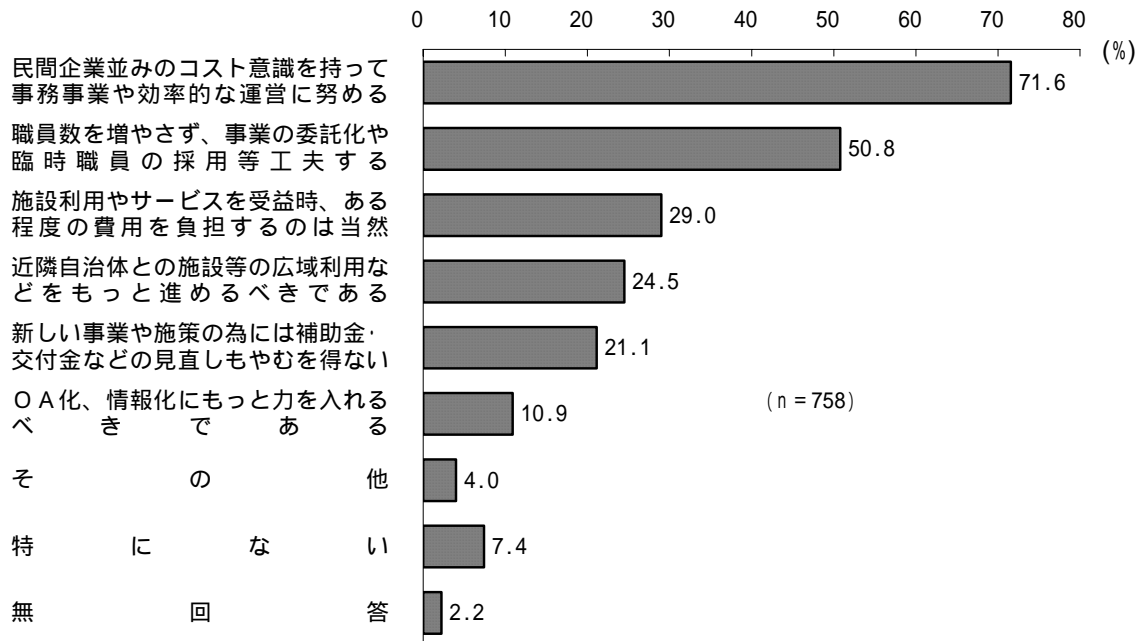
10. 行政改革

(1) 市の行政改革

「民間企業並みのコスト意識を持って事務事業や効率的運営に努める」が7割強

問 24 あなたは、市にどのような行政改革を求めますか。あなたのお考えに近いものを次の中から3つまで選んでください。

<図表 10 - 1> 市の行政改革（複数回答）

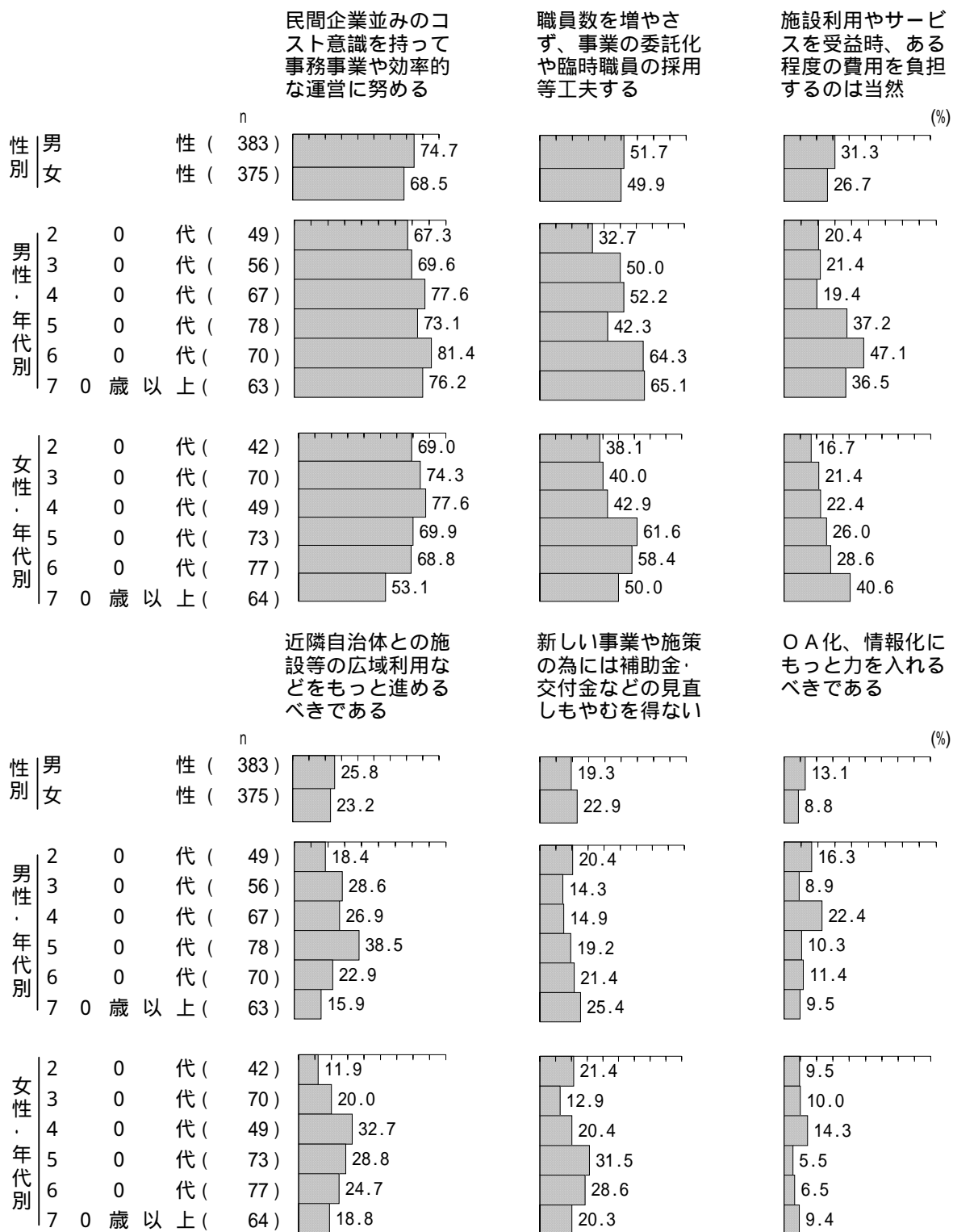


福生市に求める行政改革について尋ねたところ、「民間企業並みのコスト意識を持って事務事業や効率的な運営に努める」(71.6%)の割合が最も高く7割強となっている。次いで、「職員数を増やさず、事業の委託化や臨時職員の採用等工夫する」(50.8%)が約5割と高くなっている。以下「施設利用やサービスを受ける場合、ある程度の費用負担するのは当然」(29.0%)、「近隣自治体との施設等の広域利用などをもっと進めるべきである」(24.5%)、「新しい事業や施策のためには、補助金・交付金などの見直しもやむを得ない」(21.1%)と続く。(図表 10 - 1)

性別でみると、「新しい事業や施策のためには補助金・交付金などの見直しもやむを得ない」を除き、いずれも男性の方が女性よりも高い割合を示している。(図表 10 - 2)

性・年代別では、「民間企業並みのコスト意識を持って事務事業や効率的運営に努める」は男性の 60 代 (81.4%) で 8 割を超える。また、「職員数を増やさず、事業の委託化や臨時職員の採用等工夫する」は男性の 70 歳以上 (65.1%)、60 代 (64.3%) で 6 割台半ば、女性の 50 代 (61.6%)、60 代 (58.4%) で 6 割前後と他の年代に比べ高くなっている。「施設利用やサービスを受ける場合、ある程度の費用負担するのは当然」は、男性の 60 代 (47.1%) で 5 割弱と高く、女性では年代が上がるほど割合が高くなる傾向がある。(図表 10 - 2)

<図表 10 - 2> 市の行政改革 / 性別、性・年代別

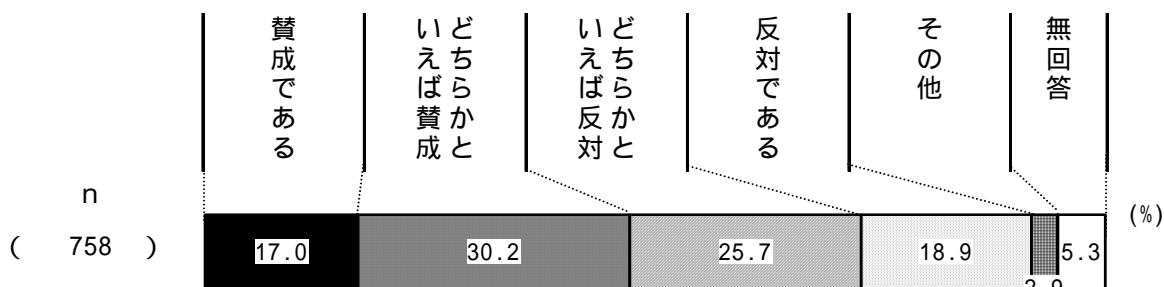


(2) 合併の賛否

《賛成派》が47.2%、《反対派》が44.6%

問 25 地方分権を進めるためには、市町村の合併を促進すべきだという意見がありますが、福生市が近隣の市や町と合併するとしたら、これに賛成ですか。それとも反対ですか。次の中から1つだけ選んでください。

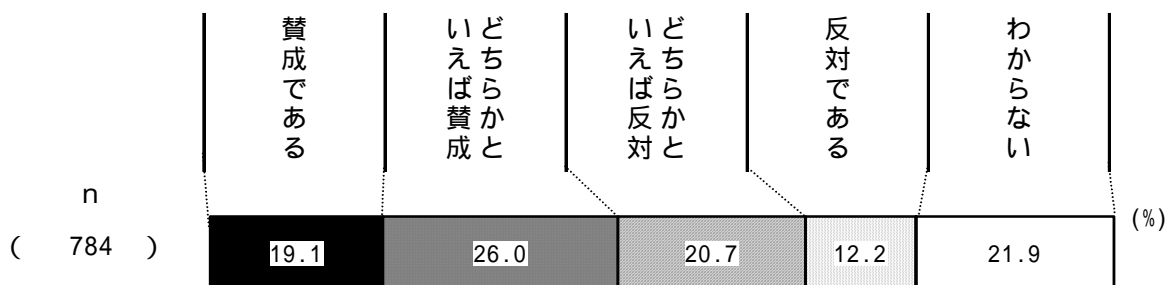
<図表 10 - 3> 合併の賛否



近隣の市や町との合併の賛否については、「賛成である」(17.0%)と「どちらかといえば賛成である」(30.2%)を合わせた《賛成派》(47.2%)の割合は5割弱を占める。一方、「どちらかといえば反対である」(25.7%)と「反対である」(18.9%)を合わせた《反対派》(44.6%)は4割台半ばで、《賛成派》と《反対派》は拮抗している。(図表 10 - 3)

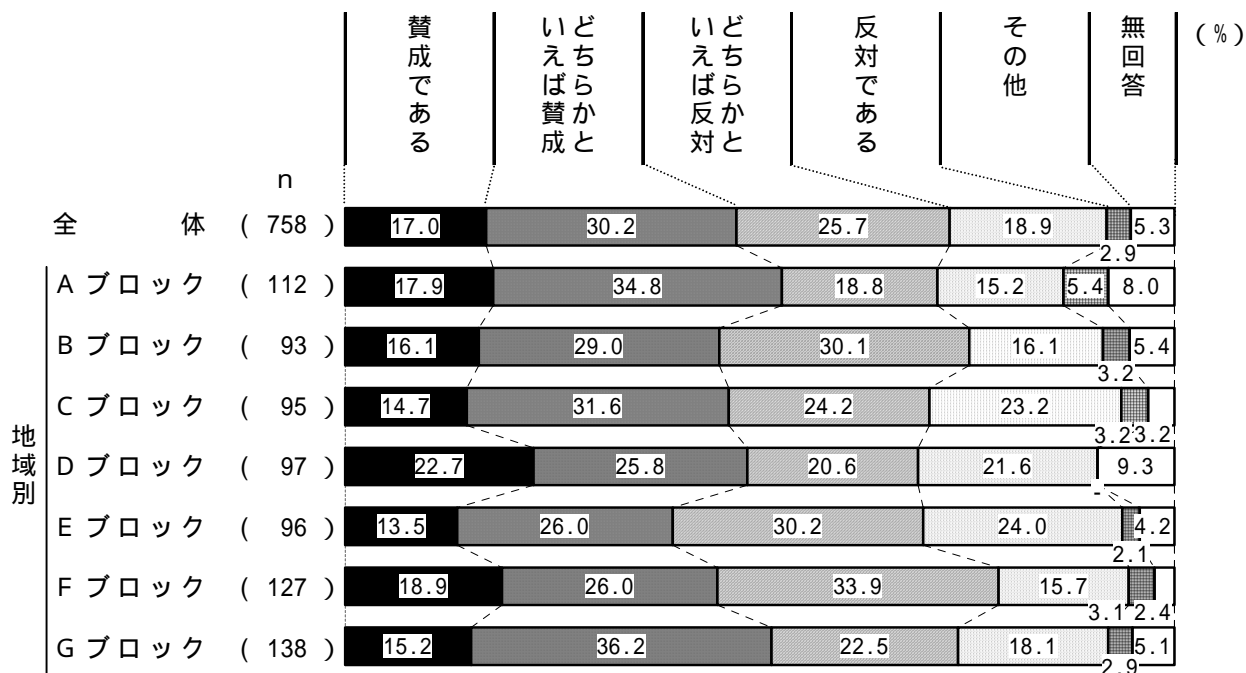
平成 15 年度の調査結果と比較すると、《賛成派》はほぼ同率であるが、《反対派》は11ポイント増加している。(図表 10 - 4)

<図表 10 - 4> 合併の賛否 (平成 15 年度調査)



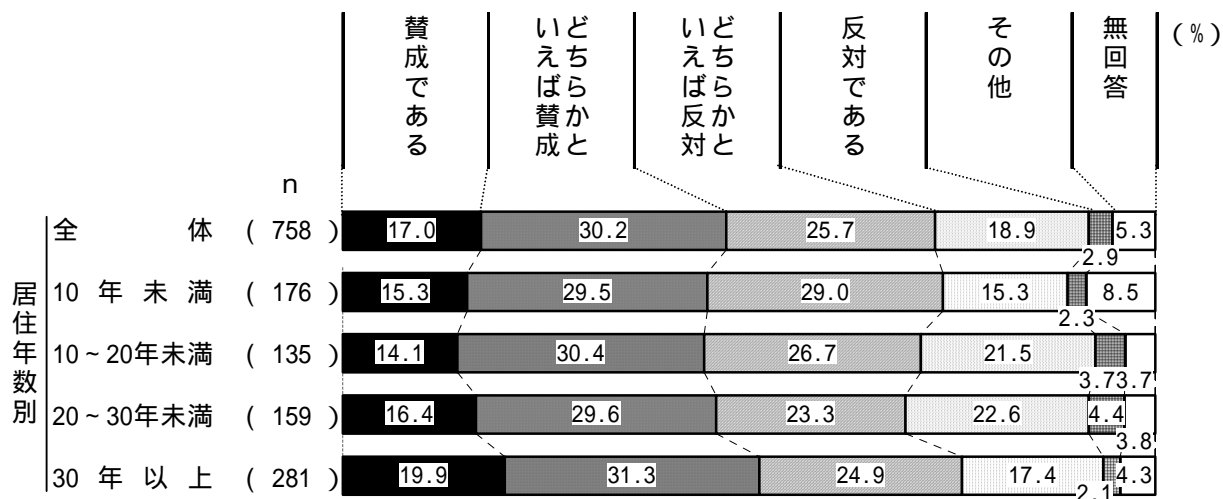
地域別でみると、《賛成派》の割合は、Aブロック（52.7%）とGブロック（51.4%）で半数を超えている。一方、《反対派》の割合は、Eブロック（54.2%）で高くなっている。（図表10-5）

<図表10-5>合併の賛否/地域別



居住年数別でみると、《賛成派》の割合は、〔30年以上〕住んでいる人（51.2%）で、約半数となっている。（図表10-6）

<図表10-6>合併の賛否/居住年数別



性別でみると、《賛成派》、《反対派》では大きな差異はみられないが、「賛成である」の割合は男性（21.1%）の方が、女性（12.8%）より高くなっている。（図表 10 - 7）

性・年代別では、《賛成派》の割合は、男性では 60 代（65.7%）、70 歳以上（65.1%）で約 3 人に 2 人と他の年代に比べ高くなっている。一方、《反対派》は、男性の 30 代（58.9%）で、約 6 割となっており、《賛成派》（35.7%）を大きく上回っている。（図表 10 - 7）

<図表 10 - 7> 合併の賛否 / 性別、性・年代別

